

事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和 6年1月22日

集計期間:令和5年12月1日～ 12月26日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 整備 体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		1	活動室が1室であるため、子どもの動きや動線に合わせてパーテーションなどで工夫をして活動しやすい配慮を行なう。
	②	職員の配置数は適切であるか	7				基準を順守し子どもの活動と安全配慮に努める。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7				児童の状態に合わせた設備が使用できるように引き続き環境整備に努める。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1			支援会議には非常勤職員も含む全職員が参画し運営状況と支援状況を把握している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				保護者アンケートを実施し回答内容は支援会議の中で分析と改善内容について、把握、協議を行なう。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	6	1			ホームページにて公表を行なう。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7				令和5年度には福祉サービス第三者評価を受審し利用者の意向を把握している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1			令和5年度は全職員を対象に同一研修に参加、支援向上への共通理解を図った。引き続き支援向上への研修参加を確保する。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			児童発達支援管理責任者を中心として、支援ケース会議にて、児童個々の課題や個別支援計画に基づく支援状況の進捗を確認している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5			新規利用者へのアセスメントは標準化されたツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7				支援会議にて個別活動・集団活動・創作活動のプログラムの検討を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1			季節に合わせた創作活動をはじめ、子どもが多様な体験ができることを視点に活動がマンネリしないよう留意している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			平日クラスと休日利用とで活動内容にメリハリがつくよう工夫をしている。特に休日については余暇活動を充実する取組みを図っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	7				日々の活動内で個別活動と集団活動時間を区切り、プログラムを構築している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				昼礼に当日勤務者が集い、活動内容をはじめ、送迎体制等の役割を分担、把握している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2			当日は送迎、片付け、記録と職員の割振りがあり集えないため、翌日に情報共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1			保護者との連絡帳の他、業務日誌及び生活記録用紙へ支援記録を記載している。改善が必要な事柄は必要に応じて日々の昼礼や支援会議にて、話し合っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	2			半期ごとに個別支援計画書の更新手続きを行い、利用者の要望等もふまえて活動計画へ反映する仕組みがある。
関係 機関 や 保護 者 との 連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1			立案された活動はガイドラインに則した基本活動と関連付けて、狙いと目標を持って取り組んでいる。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			児童発達支援管理責任者をはじめ、それぞれの児童担当職員が出席している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	1			個々は学校迎え時に情報共有を図り、全体は児童が通学する学校が主催する放課後等デイサービス事業所連絡会にて把握している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか		1	5	1	現状、医療的ケアが必要な児童の受入がない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	3		多くは保護者からの情報提供及び相談支援事業所との情報共有となっているが、事業所間での情報共有の体制は図っている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表日:令和 6年1月22日

集計期間:令和5年12月1日～ 12月26日

事業所名:友愛こどもクラブ とことこ

回答数: 7

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	1		保護者とは移行先の確認をしているが、保護者もしくは移行先事業所から要望に基づいて連携を図っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2		近隣にセンターが存在しないが、他市の児童発達センターで実施した研修へ参加した。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	4		感染症の影響もあり、機会を作ることが難しかった。
	㉗	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか		4	3		感染症の影響で開催がなかったが、開催があれば積極的に参加したい。
保護者への 説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2			日々は連絡帳を介して伝え、気になることや発達に関することなどは電話連絡や面談を実施。個別支援計画の更新手続きのモニタリング面談を半期に1度実施している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	2		療育に興味、意欲のある保護者には、相談など受けて、支援の中でトレーニングを取り入れ、成果の報告等して協働している
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				契約時に契約書、重要事項説明書を用いて説明をしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1			家庭での困った感への相談があった際には必要な助言や相談にのっている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	3		保護者会(懇談会)は療育の視点から悩みの共有や進路移行についてなど情報共有の場として必要と感じているが、一部保護者からはその必要はないとの意見もあり、保護者同士の連携を図る機会は現状ない。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			苦情については事業所内の苦情解決責任者を中心とした体制があり、契約時に説明している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	1		長期休み前などに連絡事項等を記載したお便りの発行及び法人の広報誌をホームページ上で閲覧できるよう発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	6	1			個人情報同意書にて利用者へは確認を行い、個人が断定できるファイル等は鍵のかかる書棚にて管理している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1			子どもに対しては、支援の基本姿勢として視覚的支援を徹底している。保護者への連絡ツールとして今後DX化を検討する。
非常時等の 対応	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	1		法人主催の学園祭へは多くの地域住民や関係団体にも参加して頂いている。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3			全て法人規程としてマニュアルが策定されており、周知されている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2			事業所の立地環境から火災と災害(地震・土砂流入)に分けて必要な訓練を実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2			虐待チェックリストを年2回実施 施設内での研修の実施と資料配布
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		1	身体拘束を行なう際の手順については、組織的に決定することを規定している。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		1	サービス利用開始時に聞き取りによる確認を行っている。必要に応じて医師の指示書の確認を行なっている。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2			インシデントとしての事例数を多く集めることが今後の課題となっている。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。